

南小岩小学校応援団実践報告書

1 校長及び代表・コーディネーター氏名

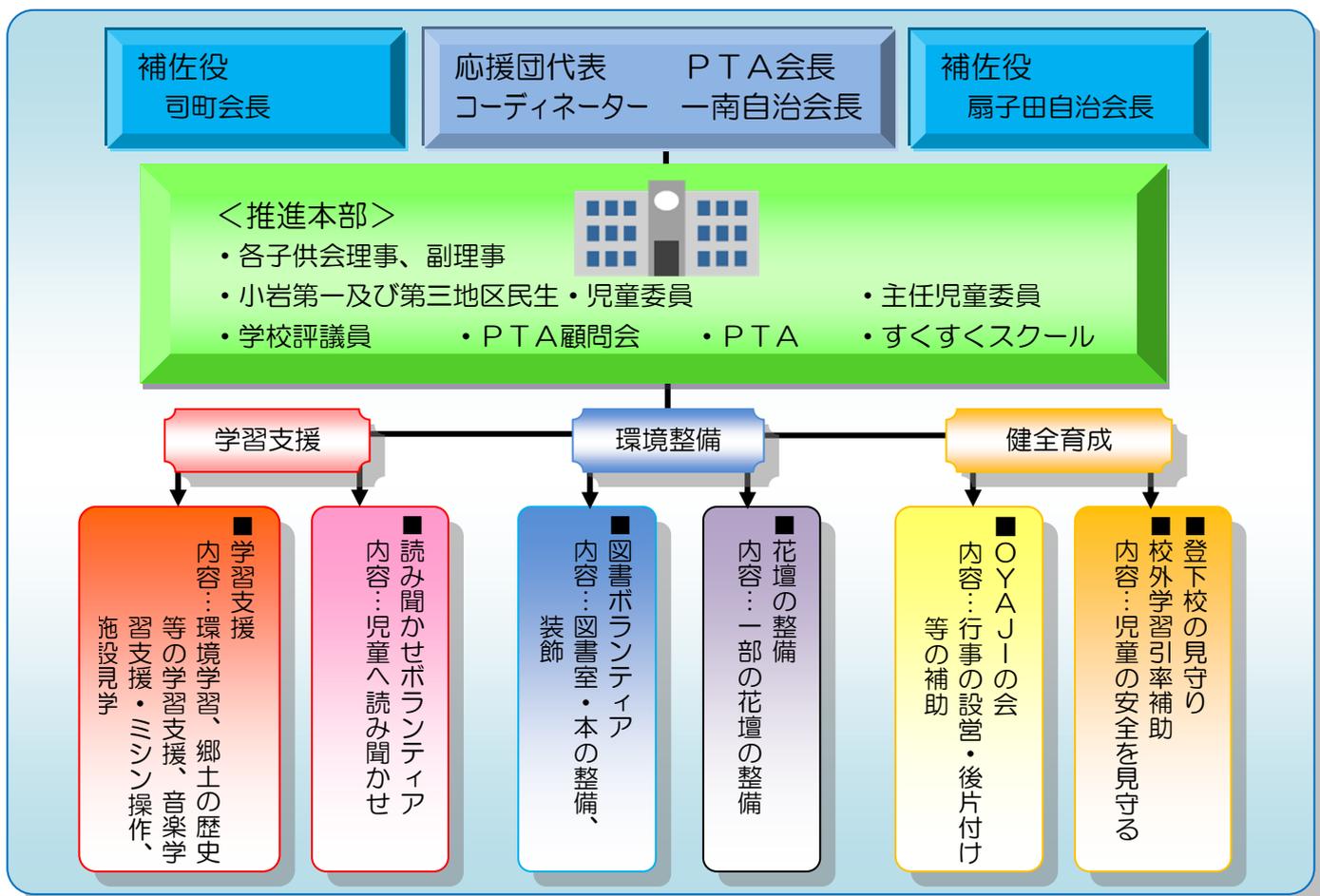
南小岩小学校長 和田 敏 郎
 代表（PTA会長） 白 井 友 理 果
 コーディネーター 長 見 安 人



2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
健全育成	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 OYAJIの会	○登校時の安全の見守り ○通学路での登校安全の見守り ○自転車教室等でのお手伝い ○校外学習をするときの安全支援 ○ふれ愛まつりや餅つき大会のお手伝い
学習支援	読み聞かせボランティア 環境学習 環境体験学習 昔遊びお手本 ミシン学習支援 戦争体験の話 音楽学習支援	○学級に入ってから本の読み聞かせ ○学校ビオトープの整備 ○中川探検やヤゴ救出大作戦の実施 ○昔遊びの支援 ○ミシンの技術指導等の支援 ○社会科学習等での戦争体験談 ○特別支援学級音楽指導
環境整備	図書ボランティア 花壇の整備	○本の修理や本の整頓 ○学校花壇の装飾や整備

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・学校応援団の会合を学期に一度、計3回実施することができた。学校・保護者・地域の連携の場として有意義な意見交換をすることができた。
- ・読み聞かせボランティアによる、毎月1回、朝読書の時間の15分間の読み聞かせは、読書好きの子供を増やしただけでなく、子供たちの心に潤いをもたらした。
- ・図書ボランティアによる、学校図書室の整備のおかげで、図書室がきれいになり、子供たちへの読書意欲をかき立てた。また、本の整理や修理については、図書委員会の活動とリンクし、児童会活動の刺激となった。
- ・PTA成人委員会による学校花壇の整備では、季節に合った草花の植え替えや飾り付けで、子供たちに季節を感じさせると共に、潤いのある学校生活に大きな役割を果たした。
- ・OYAJIの会による学校行事の準備や後片付けの手伝いのおかげで、教職員や児童の負担が少なくなり学校行事そのものに力を集中させることができた。また、ふれ愛まつりや餅つき大会等におけるOYAJIの会の活躍により、子供たちへの地域行事に対する参加意欲や地域への密着度を増加させることができた。
- ・地域人材による「ヤゴ救出大作戦」等の環境体験学習は、本校の特色ある学校づくりの一環となり、子供たちが自然の大切さについて学ぶ機会とすることができた。また、郷土や自然を愛する心を育んだ。

<課題>

- ・学習支援で協力を得る場合、年間指導計画の中でどのような時期にどの単元(題材)でどのように活用するのか、といったことを年度当初や学期当初に計画しておき、応援団の方々と綿密な計画できるようにしたい。(特に学習支援の面において)
- ・区報やホームページ、学校だより等で「学校応援団」に関する事柄は紹介等されているが、学校が独自に行っているもの、PTAと同様のものという意識や感覚が多いように感じられる。そこで、「学校応援団」の認知度を上げ、協力者を増やし、人材を発掘していくことが大切である。

5 代表より

南小岩小学校の子供たちが、のびのびと成長していくようにという願いで始まった学校応援団も今年度で3年目となりました。読み聞かせボランティアや図書ボランティアやOYAJIの会等の組織を通して、南小岩小学校の教育活動を支え、保護者と地域の皆さんと協力し合い、さらに、活動を広め様々な情報交換をしていきたいと思っています。また、登下校やすくすくスクールとの連携、互いの支援も大切であると考えます。そして、一南自治会、司町会、扇子田自治会の三自治会とは、様々な地域行事に協力させていただき、参加をすることで親交を深めてきた経緯があります。これらの基盤をもとに、さらに、南小岩小学校の学校応援団が活発に大きく活動していけたらと考えています。

6 学校長より

南小岩小学校が目指している学校像は、「どの子も笑顔で登校し、満ち足りた気持ちで家路につく」学校です。そのためには地域や保護者の皆様の教育力が不可欠です。今までも学校応援団の皆様には、健全育成・環境整備・学習支援の3つの柱で大変お世話になってきました。たとえば、登下校の見守り、図書の整備や読み聞かせ、ゲストティーチャーとしての学習支援などどれも子供の笑顔のためにとっても大きな応援です。これからも応援して下さる方々に感謝するとともに、さらに「地域とともに創る学校」づくりを進めていきたいと考えています。引き続きご支援をお願いいたします。